

会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）

新日本スポーツ連盟

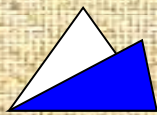
No. 279

2023年12月1日

代表 岩井 富雄

射水市宝町 1364-35

TEL・FAX 57-8180



三島野スポーツクラブ



里部渓谷下の廠下 水平道 小水 清 画

12月・1月の企画案内

12/23 (土) 夫婦山

1/1 元旦登山 二上山

1/20(土)カンジキ登山 牛岳

第26回定期総会

2月3日(土)

山行報告

南保富士・二王山

11/3

福地山

11/15

富士山を愛でる山旅

11/25~26

寄稿 生涯忘れられない一夜

山田 格



# 12月・1月 企画案内

12月10日の金華山（岐阜城）企画は参加申込を11/30で締め切りました。

## 12/23(土) 夫婦山

（東松瀬登山口～夫婦山（男峰 784m・女峰 740m）の往復）

### 〈行程プラン〉

葉勝寺P	8:00
松瀬神社	9:30
松瀬峠	10:00
女峰	10:20
松瀬峠	10:30
男峰	11:00
登山口	13:00
葉勝寺P	14:30



体力度・技術度とも★☆☆☆（積雪時は★★☆☆☆）

申し込 的場邦夫 迄（090-4320-5325）〆切 12月13日迄

## 1/1 元旦登山(二上山)



恒例の企画。事前の参加申込・受付はしません。希望者は元旦の朝 **5時30分** に城光寺球場前に集合してください。

また、どのルートから登っても自由ですが、**7時**に山頂で合流しましょう。

## 1/20(土) カンジキ登山 牛岳

富山市（旧山田村）  
987m

牛岳温泉スキー場から山頂を目指すルートです。

登りをスキー場リフト利用の場合（ゆっくりの時間設定）

登り 標高差 530m 2時間30分 下り標高差 850m 3時間

体力度・技術度とも★★☆☆☆ 〈L〉塚 良昭

参加申込は1月10日まで SMS 080-8033-7427 塚へ



雪の牛岳山頂

# 第26回定期総会

## 開催します

とき 2024年2月3日（土）午前10時から  
ところ はなみずき

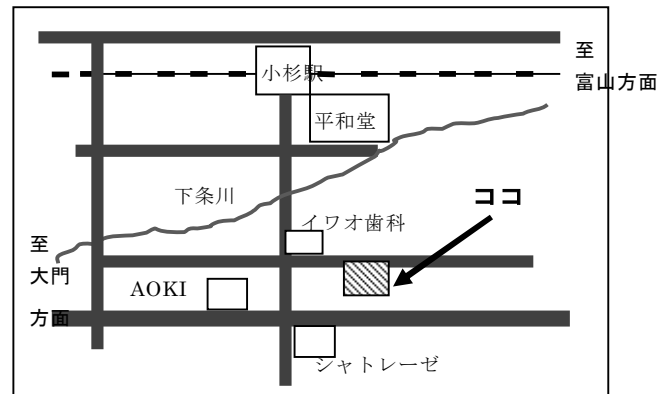
※ 昨年は三島野スポーツクラブは満25年の記念の年でした。これまで重ねてきた活動もふりかえり、新たな活動の起点となる総会にしましょう。

※ これまで利用してきた「古洞の森」が廃止され、世話人会で利用している「はなみずき」で開催することになりました。すべての会員の万障繰り合わせての参加をお願いします。

※ 総会終了後、懇親・交流の場を持ちたいと思います。コロナ禍の下、感染対策のため一昨年まで自粛していましたが、昨年からは解除しました。ランチをともにしながら「思い出の山」「人生のあれこれ」などを交流したいと思います。



前回26回定期総会



## 2024年の企画について

12月12日（火）13時から「2024年の企画について」の拡大世話人会を開催します。

クラブにとって年間企画は最も重要な課題です。一人でも多くの会員の希望、声が反映できるように総会で提案したいと思います。

12月5日の世話人会に「素案」を持ち寄り、それを参考に2024年企画案を作成します。

四季（春夏秋冬）の山 ・ 里山散歩 ・ 花を愛でる山 ・ 日本アルプスの高山 ・ 憧れの山 etc を挙げて具体的に検討したいと思います。世話人会メンバー以外の会員の参加大歓迎です。

## 労山富山県連盟からのお知らせ

- ◇ 定期総会を2月28日（水）に開催予定です。
- ◇ 県連交流登山を3月17日（日）雪割草の群生地の能登・猿山ハイクを実施します。貸切マイクロバスを利用し、費用は県連が補助します。三島野スポーツクラブとして積極的に取り組みます。





メンバー：〈L〉的場邦夫、〈SL・写真〉塚 良昭、石黒洋子、老川佳子

## 【行程記録】

薬勝寺P発 7:00

駐車場(三峯グリーンランド)着 8:00→

登山口 8:47→南保富士頂上 9:50→

仁王山頂上 10:30→南保富士頂上(昼食)11:00→

猪山頂上 12:05→七重滝 12:40→登山口 13:25→

駐車場 13:45→薬勝寺P着 15:05



## ひとくち感想

老川：とても暑い日でしたが、とても空が綺麗な秋晴れの日となりました。南保富士は標高727mと低山ですが360度の眺めは最高で、剣岳や北アルプスの山々がとても美しかった。南保富士だけでは物足りず、仁王山→猪山へ3つの山を登り、今日は大収穫。低山と言いながら下りが凄くハードで足はガクガク。でもブナの木やもみじや楓が綺麗な紅葉で大満足の山行でした。

的場：絶好の天候に恵まれました。この日は気温が24度と暑いくらいで、急登では汗が出ました。紅葉も丁度で素晴らしく、青い空ともみじの赤、ブナ林の黄色、楓の三段染め等感激でした。特に南保富士からの二王山までのブナ林が素晴らしかったです。

石黒：ブナの森に快晴の日がさしてキラキラと光る紅葉した木々、木々の間から見える青空、さわやかな風、落ち葉を踏みしめて歩く道、大変気持ちの良い山行でした。南保富士の頂上からは360°の眺望、黒部川扇状地や日本海の海岸線がきれいに見えました。海と空の境の淡い色の違いもすてきでした。急登の登山道もありましたが、三島野のみなさんと一緒だから、声をかけてもらいながら楽しんで歩くことができました。

塚：天候にも恵まれ素晴らしい紅葉の山行を楽しみました。山頂では剣岳・毛勝山・駒ヶ岳や日本海の眺望が楽しめました。また二王山までのブナ林では、青空に黄色が映えた紅葉が素晴らしかった。



メンバー；〈L〉岩井富雄、的場邦夫、川淵順正、老川圭子、松田理恵子

## 【行程記録】

薬勝寺池 P 発 5:50 → 福地山駐車場着 7:47 →  
登山口スタート 8:06 → 第一展望台 9:31 →  
無然平 9:41 → 第四展望台 10:24 →  
福地山山頂 10:39 → 昼食 → 山頂出発 10:58 →  
登山口着 10:20 → 薬勝寺池 P 着 15:45

## ひとくち感想



**老 川**：最高気温4℃くらいと寒い山行で気合いを入れてガッツリ着込んで登山にのぞみました。ところどころ積雪もあり、寒さに弱い私としては不安しかなかったのですが、時には日差しもあり助かりました。気持ちいいくらいサクサクと落ち葉を踏む登山道。展望台からの槍ヶ岳や焼岳など北アルプスの雪を被った姿を見ながら頂上へ…と思ったら山頂はガスがかかってちょっとガックリ。でもとっても楽しいお山でした。今度は福地温泉に入りたいです。

**的 場**：初冬の福地山山行。木々の葉は落ちて見通しが良く、無然平までは青空で頂上の眺望を期待したが頂上ではあいにく槍ヶ岳、奥穂、笠ヶ岳の頂上は雲隠れしていた。焼岳は見えた。無然平での眺望が一番でした

**岩 井**：予定通り8時ごろ到着。準備運動をして、早速登山開始。登山道の幅が広く登山者が接触する心配ない。登山道の両側に落ち葉が堤防の様に盛り上がっていて、一旦雨が降ると川のように流れるのが想像できます。雨水の流れていない登山道は落ち葉が15センチほど積もり「サクサク」と気持ち良い足音を聞きながら歩く。たくさんの落ち葉から緑豊かな森だと感じました。

**松 田**：登山口に着くまでは雲が多く、雨だけは降らないでと願っていました。次第に真っ青な空に！噴煙を上げる焼岳が美しく、久しぶりの登山を楽しみました。軽快な足取りで予定よりも早く登頂するも、山頂では寒くて、しかも見晴らせるはずの山々の頂上は雲に隠れ、下山することに。しかし道も良く、落ち葉を踏んでの下山もまた楽しかったです。

**川 淵**：11月も半ばを過ぎると、山は静かだった。鳥もいなければ虫もいないし、誰一人ともすれ違わない。紅葉期はとっくに過ぎ、すっかり葉を落とした木々は幹だけとなり、薄寒そうでもある。標高千メートルを超えるころから、あちこちに白いものが見え、今冬初めての積雪を踏んだ。周囲の山々の展望は、各山頂付近に雲がかかり続けてなかなか見えなかったが、広大な自然の中に佇む閑静な初冬の山々を満喫した。下り道、大量に降り積もった乾いた落ち葉を、サクサクと軽やかに踏みしめながら下山出来るのも、この季節ならではの風物詩である。





# 山行報告

11/25(土)～26(日)

## 富士山を愛でる山旅

メンバー： 〈L〉 的場邦夫、(SL) 塚 良昭、高井増美、石黒洋子  
草 進、今村和子、林 憲彦、甲かほる

### 【行程記録】

#### 1 日目(25 日)

薬勝寺P 発 6:00→富士山 5 合目 11:30→御中道散策、御庭散策 (昼食)12:45～14:10  
富士 5 合目 出発 15:00→民宿こばやし着 16:30

#### 2 日目(26 日)

民宿こばやし 発 7:30→登山口(魔王天神社) 出発 7:45→三湖台 9:00→紅葉台 9:30→  
足和田山(五湖台) 着 11:10→足和田山(五湖台) 発 11:50→登山口(魔王天神社) 着 13:00→  
鳴沢道の駅 (昼食) 発 14:00→薬勝寺 P 着 19:00



### ひとくち感想

**的 場：**一日目はレンタカーで移動中高速道路から見えるはずの富士山が見えず第二案の紅葉狩りにするか、天上山に登るかメンバーに確認するも全員が富士スバルライン奥庭に行くとの事、ならば行かねばなるまい。これが素晴らしい判断で4合目までは霧の中しかし5合目では見事にかい富士山に会えた。草さん曰く、(でかすぎて富士に見えない) そうかも？素晴らしい景色を堪能しながら歩き満足。二日目は紅葉台、三湖台、五湖台(足和田山)での富士山を愛でながらの山行。2日間とも晴れて良かった。

**草** : 白く輝く富士山が前面にたちはだかり覆いかぶさるような富士山に圧倒されます。何べんも、何べんも眺めても飽きることがない。雲海を隔てて浮かぶ南アルプスの峰々が神秘で、厳かに心に染みこみます。真の登山者しか味わえない至極のひと時でした。すべての会員に“お裾分けしたい感動”でした。皆さんなぜなぜ、どうしてたの。運転手さん有難う、感謝、感謝の山旅、本当に有難う。

**高井** : 「富士山にある むら」鳴沢（ポスターにこんな表現がなされているのを発見！）しっかり堪能してきました。感動をありがとう！きもちいい（\*´▽`\*）の感嘆の言葉が幾度もでた山行でした。命の洗濯ができました。リーダーはじめ、皆さまがたに感謝いたします。ありがとう  
♡

**石黒** : 1日目、近づくにつれて見えてくる富士山のどっしりと広がる裾野の姿は圧巻でした。富士山五合目の奥庭や御中道、御庭散策では、雲海の上にそびえる雪をかぶった富士山の姿は、「頭を雲の上に出し、四方の山を見下ろして～」の歌そのものの姿でした。2日目の足和田山では、落ち葉を踏みしめ紅葉や湖、富士山を愛でる事ができました。富士山の姿に感動し、写真を撮り合い、おしゃべりをして、楽しい山旅でした。リーダー、皆さん、ありがとうございます。

**林** : 風呂に入っの第一声が、疲れた、疲れたの2連発でした。でも仲間に励まされ登りました。歩いた爽快感は今までにないものでした。一緒に登った仲間の皆さん有難う。

**今村** : 1日目、雲の中をぬけ、富士山五合目近くに来ると、急に青空が広がる。目の前にでっかい富士山が突然現れる。雪をかぶった真っ白い富士山は、とても素敵。奥庭を散策し、富士山を目の前に見ながら食べたお昼は、最高の味。企画してくださったリーダーさん、一緒に参加した皆さん、楽しかったです。ありがとうございます。

**塚** : 五合目から見る富士山は、圧倒されるような迫力がありました。また雲海に浮かぶ南アルプスが素敵でした。二日目の足和田山からは、青空に雪化粧をした富士山が裾野まで見渡せ、まるで絵画のようでした。

**甲** : 今年は五合目から富士を愛でる山旅。とにかく「すごい！」の連発です。迫力抜群。目の前からすぐに頂上まで登っていけそうでした。来年のコースはどこかなと思ひ、今から楽しみになりました。皆さんに励まされながら頑張って登れ、皆さんに感謝します。ありがとうございます。

民宿で晚餐



チェインスパクシヨ



樹々は葉を落とし陽射しが届く



五合目「奥庭」から富士山を仰ぐ



8月1日の深夜という未明なのか記憶は曖昧であるが、富山市泉町に在住中、母親に起こされると、外では空襲警報のサイレンの音と避難を呼びかける人々の大声が聞こえた。母は6歳の私と4歳の弟に急いで服を着せ、私にはランドセルを背負わせ革靴を履かせると向かいの家の庭先にある防空壕へ町内の人たちとともに避難した。ランドセルと革靴は来年小学校に入学するために母が買ってくれたのか、親戚からの贈り物なのか・・・靴、ぶかぶかで大きく、ランドセルは6年間使用するためにかなり良いものであったらしい。

さて、防空壕にどのくらいいたのだろうか。息をひそめていると、外は米軍のB29爆撃機の爆音と近くに落ちる爆弾の音と地響きが聞こえる。突然、大きな爆発音とともに防空壕の天井が崩れ落ちた。爆弾が命中したらしい。皆が悲鳴をあげて出入り口に殺到したため、老人や子供たちは押しつぶされ息もできないほどだった。出入り口で中田という名の憲兵さんが“逃げるな”と怒鳴っていたのをハッキリと覚えている。

それでも多くの人たちが脱け出して防空壕の中は、かなり余裕ができたようだった。煙と火薬の臭いか、息が詰まりそうだった。母は危険を感じたのか弟を背負い私の手を引き、中にいた人たちと外へ飛び出した。

外に出て目にした光景は、サーチライトや燃える炎にて照らされ輝き、編隊を組んで爆弾を落とすB29と、私の家や近所の家々が燃え上がる火の手だった。人々は右往左往しているが、日ごろ訓練した消火活動をは誰もしていなかったし、多くの人は何処かへ逃げ出して残っている人は少ないようだった。そこへ消防団の人たちが、動かなくなった消防自動車を押しながらやってきて、母に早く逃げろと指図した。弟を背負った母は私の手を引いて、消防団の人たちと走り出した。

何処をどのようにして走ったのか、大勢の人たちと同じ方向へ、ケガ人か死人か、倒れている人を飛び越し、血だるまになって助けを求める人や、背中に爆弾が当たって燃えている人たちを避けながら、地獄絵図を見ているような中を夢中に走ったことだけが記憶している。

空には白く輝くB29が編隊を組んで、次から次と来襲しては爆弾や焼夷弾を落としていく。私たちの周囲をザーッと音を立てながら雨のように降らせて…。爆弾でやられた人たちがバタバタ倒れる。こんなにたくさん爆弾が落ちてくるのにあたらないのが不思議なくらいなのに、なぜか恐怖を感じなかったように思う。母に手をつながれていた案心感だったのか。

気が付いてみると、そこは西長江村の農家の庭に敷かれた筵の上で、手には真っ白な大きなおにぎりを持っていた。あのおにぎりの味は今も忘れられない。うまれてはじめての美味しいもの味だったような気がする。それから何年もの間、まっしろなコメのご飯が食べられなくなったのだ。

数日後、数個のおにぎりをランドセルに入れてもらい農家を後にした。道路や田んぼのあちこちに死んだ人や、荷車に繋がれたまま死んだ馬や牛や、まだ燃えている自動車などを避けながら市街地に入った。足に伝わる焼けた地面の熱を水溜りで冷やしながらかき回っていた。

その後、知り合いの日産化学の社宅や親類などを頼ったりしながら暮らしていたが、富山市の館出でに土地を借りて藁小屋を建て落ち着き、東部小学校へ例のランドセルを背負って入学となるが、ランドセルを背にする生徒はあまりいなかった。学校は2部制で授業はほとんどなく、畑仕事か草むしりの毎日だった。上級生になって午後も授業になると、お昼時間に弁当のないものはグラウンドの柳の下に集まって休んでいた。

3度の食事どころか1日・2日と食事のなかった生活が続く中3年生の時、父親が満州から帰還し、喜びすぎて転び眉間を5針も縫う怪我をした。その傷跡は今も残っている。父親は知り合いを頼って大工仕事をしていて暮らしは大変だったようだ。

母の背中で空襲を体験した弟は、あの空襲を全く記憶していないという。もしかしたら、自分が富山大空襲を語り継げることのできる最後の年代かと思い、戦争と空襲の恐怖の体験と平和の大切さを誰かに語り継がなければならないとペンをとりました。

(やまだ いたる 三島野スポーツクラブ相談役 )





## 〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏名	住所	TEL	携帯
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場 邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	塚 良昭	射水市寺塚原 226	84-1162	080-8033-7427

世話人会は、荒井英治、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、守田清子と上記の4名で構成します。

〔監事〕草 進、浦 幸江      〔相談役〕山田 格、林 憲彦

12月の世話人会開催は **12月5日(火)と19日(火)の午後2時から**、  
会場は「はなみずき」です。どなたでも自由に参加できます。

尚、2024年企画検討会を12月12日(火)午後1時～

1月会報作成発送を12月26日(火)午後1時～おこないます。

会報編集担当です。会報に記載する原稿のは下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則 [horii.yasunori@rouge.plala.or.jp](mailto:horii.yasunori@rouge.plala.or.jp)      甲かほる [kab@p2.tcnet.ne.jp](mailto:kab@p2.tcnet.ne.jp)

松田理恵子 [krbara@p2.tcnet.ne.jp](mailto:krbara@p2.tcnet.ne.jp)

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るためには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスは [http://sportstoyama.namaste.jp/99\\_blank.html](http://sportstoyama.namaste.jp/99_blank.html) を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のQRコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。



## 編 集 後 記

- ・スーパーの新聞折込チラシの色調が黒っぽい。「ブラックフライデー」商戦だという。そして、この会報が会員諸氏に届くころには「年末商戦」の呼び声とクリスマスソングが聞こえていることでしょう。
- ・ロシアのウクライナ侵略戦争とイスラエルのパレスチナ人殺戮の胸の痛むニュースがひっきりなしに報道されている。そんなとき編集子がPC周りの整理をしていると山田さんからの寄稿文が出てきた。私が体調を崩していた頃に届いたのだろうか、完全に失念していました。労山の理念“平和でこそスポーツ・登山が安全に楽しむことができる”ことが実感できる寄稿であり、最近の出来事もあわせて、貴重な体験談として掲載しました。
- ・相変わらず“異常な天候”が続いている。が、三島野 SC 企画は異常気象に遭わず、安全に実施されている。「ん？それが異常？」。ピークに立って望む景色に元気をもらえば最高です。
- ・定期総会に向けての準備も始めます。来年の企画についての検討が行われます。少しでも皆さんの要望が反映されるようにしたいものです。E-mail で SMS で LINE で FAX などを利用して世話人会に届けてはどうでしょう。

